

◎1月14日(日)開催 第3010回例会

兵庫県山岳連盟同調

楽しく学べる植物観察・パートⅢ

「北山緑化植物園周辺の冬を観察」に参加して

布引支部 T.M

十日我が雨天だったので、少しは暖くなるかな?・・と書いておりましたが、逆に寒波襲来!・・。寒暖計がマイナスを示す日が3日も続いていたので動くのを躊躇していたのですが、当日は快晴無風の観察日和。西宮に住む孫2人をお伴?にし、参加させて頂きました。



出発前のミーティング風景(阪急・甲陽園駅前にて)

集合は阪急甲陽園駅午前9時30分。この行事は植物観察オンリーなので、大変詳しく学ぶことが出来るのが人気の秘密なのでしょう。すでに40人程の方が集っておられました。

ご挨拶や講師の方のご紹介が済んで出発。コースは頂いた資料から・・～銀水橋～北山池(三ッ池)～北山緑化植物園～北山貯水池(北山ダム)～神



銀水橋の上ですでに観察モード?

呪寺(甲山大師)～甲陽園駅・・です。

駅前の車道を北西方向に10分程歩くと県道82号線。ここから北方向へ10分足らずでハイキング道の入口となる銀水橋に出ました。

小休止の後木々の冬芽を中心に、さっそく植物観察が始まります。講師をして下さるのは、吉野自然保護委員長、Tさん、Nさんの3名です。



N講師の説明を皆さん熱心に聞かれていました

ヤマナラシ、リョウブ、オオバヤシャブシなどの冬芽や、ヒメユズリハの果実などを観察しながら適度にアップダウンのある北山を楽しんで歩きました。ヤマナラシの名は、わずかな風にも揺れて葉が鳴ることからその名が付いた・・。

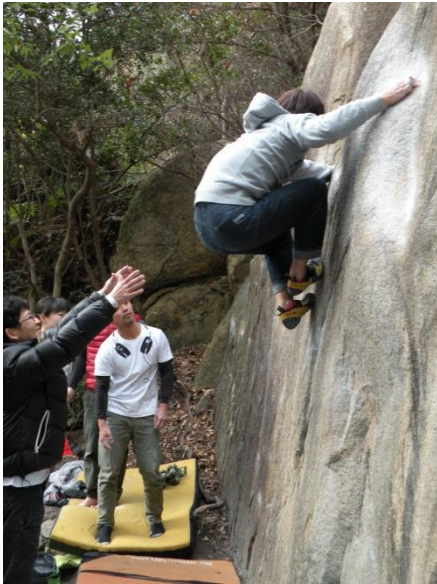


自然保護委員長の説明に聞き入る参加者

リョウブは春には新芽をつんで炊き込み御飯にする地方もある・・。ヤシャブシの種類は、近年花粉症の原因になるといわれているため緑化樹として利用されなくなっている・・。などなど、詳しく丁寧な解説に感心するばかりでした!



ユズリハとヒメユズリハの葉の垂れ下がり方の違いや、冬芽や果実なども詳しく説明して下さいましたが、一度や二度では覚えることは出来ません。機会ある毎に教えて頂こうと思いました。



岩場でボルダリングを楽しむ若者達

北山緑化植物園へはハイキング道からイノシシ除けの柵の扉を開けて入ることが出来ました。園内ではハンカチの木の冬芽を観察したり、春を待つ多くの植物が見られました。



北山墨華亭



小蘭亭

園内での昼食後は、北山貯水池方面から神呪寺方面へ。ここでも三大美芽と言われているネジキ、ザイフリボクを観察することが出来ました。

阪急甲陽園駅へは予定通りの時間に到着、解散となりました。

孫たちも観察経験は初めてなのに、興味深く見聞きしてくれたのが嬉しく、思い出に残る観察会となりました。



ハンカチノキの冬芽を観察する二人のお伴？（孫達）

天 候 晴れ

担 当 例会・自然保護委員会

山岳連盟/自然保護委員会

参加者 38名（内当会員29名）

写真撮影：吉野会長